

(様式1) 実践事例

学校名	本宮市立糠沢小学校	校長名	松井 義孝		
住所	本宮市糠沢字原23番地	児童生徒数	178	学級数	9
TEL	0243-44-2006	ホームページアドレス			

少人数教育のよさを生かすきめ細かな指導

1 少人数教育の計画等

本校では、学習指導において学び合いが深まるように、ペアやグループでの活動を取り入れながら授業を行うようにしてきた。少人数教育のよさをさらに生かすためにも、一人一人の学習の様子をしっかりと見取り、個に応じたきめ細かな指導ができるような授業づくりを進めている。

2 実践の概要

(1) 机間指導を充実させ、個に応じたきめ細やかな指導を行う授業の実際

2年生の算数「三角形と四角形」の学習では、「話したり書いたりすることにより、考えを確実にする授業」をテーマに授業を行った。全員が話す材料をもつことができるように、座席表を活用して児童の考えを見取ったり励ましの言葉をかけたりして机間指導を充実させた。このことにより、一人一人が自分の考えをしっかりとノートに書くことができ、進んで話し合う様子が多く見られた。

さらに習熟の段階では、学んだことを生かしてトランプゲームの手法で三角形と四角形を弁別する活動を取り入れた。一人一人の学習の見取りをするために教師がそれぞれのグループに関わる時間を多くとることにより、児童は図形の弁別が確実にできるようになっていった。また、教師は児童の学習の理解度を確認することができ、確かな評価につなげることができた。



(2) 一人一人の考えを把握し、活発に意見を交流させる授業の実際

6年生の国語「海の命」の学習では、「自分の考えをもち、友達と互いの考えを交流することで、読みを深めることができる授業」をテーマに授業を行った。単元の指導計画に「一人調べの時間、ペア・グループ・全体での話合いの時間」を位置付け、指導を行うようにした。また、学び合いの場面では、児童が家庭学習で取り組んだ登場人物に関する考えや前時までに読み深めた考えを座席表に集約し、意図的指名を行って話合いを進めた。自分の考えをしっかりとらせるために、ペアやグループ、全体での話合いを取り入れたことにより、活発な意見の交流が見られ、児童はお互いの多様な考えにふれることでさらに自分の読みを深めることができた。また、座席表を累積することで授業前後の児童の変容をつかむことができた。



3 実践の成果と課題

- 少人数のよさを生かして机間指導を充実させたことは、一人一人に考えをしっかりとらせることにつながり、児童は自信をもって話合いに参加していた。
- 座席表を活用して児童の学びの様子を把握したり、ペアやグループでの話合いの場を確保したりすることで、話合いが活発になるとともに、学習状況の見取りができ、評価に生かすことができた。
- より個の実態に応じた指導形態を工夫していきたい。特に補充的な学習や発展的な学習の在り方や習熟度別学習の実施について検討していきたい。
- 少人数教育のよさをさらなる学力の向上に結びつけていくために、学校全体での取組について全職員で話合いを深めていく必要がある。授業改善についての話題を定期的に取り入れていきたい。